

第16回 エレクトロヒートシンポジウム (WEB 開催)

結果報告

令和3年 12月
一般社団法人日本エレクトロヒートセンター

1. 開催概要

- (1) 開催期間 令和3年11月1日(月)～11月30日(火)
- (2) 開催方法 WEBによる配信(閲覧URL: <https://jehc-sympo.com>)
- (3) テーマ 産業電化が導くカーボンニュートラルの未来
- (4) 主催: 一般社団法人日本エレクトロヒートセンター
- (5) 共催: 日刊工業新聞社
- (6) 後援: 経済産業省、環境省
- (7) 協賛: (一社)エネルギー・資源学会、(一社)遠赤外線協会、(公社)化学工学会、(一財)省エネルギーセンター、(一財)素形材センター、(一社)地球温暖化防止全国ネット、(一社)電気学会、電気事業連合会、(一社)電子情報技術産業協会、(一財)電力中央研究所、(一社)日本印刷産業連合会、(一社)日本機械学会、(一社)日本機械工業連合会、(公社)日本技術士会、(一社)日本金属熱処理工業会、(一社)日本工業炉協会、(一社)日本工作機械工業会、(一社)日本産業機械工業会、(一社)日本自動車部品工業会、(一社)日本鍛造協会、(一社)日本鋳造協会、(一社)日本鋳鍛鋼会、(一社)日本厨房工業会、(一社)日本電気協会、(一社)日本電機工業会、(特非)日本電磁波エネルギー応用学会、(一社)日本熱処理技術協会、(公社)日本冷凍空調学会、(一社)日本冷凍空調工業会、(一社)農業電化協会、(一財)ヒートポンプ・蓄熱センター

2. 実施内容

(1) 全体

第16回エレクトロヒートシンポジウムは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場を使用しての開催を中止し、昨年に続きWEBにより開催することとした。

WEB開催の特徴を生かし、主催者挨拶・開催趣旨、基調講演、特別講演、技術発表を事前収録し、開催期間中オンデマンド配信を実施、技術発表については過去最高の11テーマ配信。技術展示は、バーチャルブースに各出展者WEBコンテンツ(PDF)を展示し、資料ダウンロード、動画視聴はじめ質問コーナー設置、ZOOM面談等を可能とした。

WEB開催につき、初回、ID(メールアドレス)、PW(任意)を登録すれば、期間中は「お使いの各種デバイスで」「いつでも」「何処でも」「何度でも」視聴、閲覧を可能とした。

(2) コンテンツ

【主催者挨拶・開催趣旨】

「産業電化が導くカーボンニュートラルの未来」

一般社団法人日本エレクトロヒートセンター 代表理事・会長 内山 洋司

【講演エリア】

■基調講演①「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」

経済産業省 産業技術環境局 エネルギー・環境イノベーション戦略室長 河原 圭氏

■基調講演②「2050年カーボンニュートラルに向けた経団連の取組み」

一般社団法人日本経済団体連合会 環境エネルギー本部長 長谷川 雅巳氏

■特別講演「鉄鋼業のカーボンニュートラルへの取り組み」

一般社団法人日本鉄鋼連盟 エネルギー技術委員長 手塚 宏之氏

【技術発表エリア】

- 「“C NEUTRAL 2050 design”」～マイクロ波が実現するカーボンニュートラル～
マイクロ波化学株式会社
- 「新開発高効率ヒータによるアルミ鋳造工程の省エネ活動事例と脱炭素化への展望」
株式会社ヤマト/中部電力ミライズ株式会社
- 「マイクロ波連続加熱装置の技術紹介」
富士電波工機株式会社
- 「マイクロ波化学研究の最前線」
独立行政法人日本学術振興会 産学協力委員会 R024 電磁波励起反応場委員会
- 「高周波焼入を支えるIoTプラットフォームFD-IoT(エフディオット)」
富士電子工業株式会社
- 「塗装設備におけるIH導入のご紹介」
株式会社スガコーディングス
- 「LTD管理冷却水処理による省エネソリューション」
オルガノ株式会社
- 機械・化学産業分野の高温熱供給に適したヒートポンプシステム技術開発
三菱重工サーマルシステムズ株式会社
- 「ヒートポンプを用いた廃熱活用事例」
三菱電機エンジニアリング株式会社
- 「変動する廃熱のカスケード利用とヒートポンプシステムによる熱の高度化利用について」
クラフトワーク株式会社
- 「食品産業のDXを推進する「インターネット オブ キッチン プラットフォーム」活用ガイド」
インターネット オブ キッチン プラットフォーム運営WG

【技術展示エリア】

- バーチャルブース展示企業・団体・大学（56者）※50音順、敬称略
IHI 機械システム、AIHO、アロニクス、インダクトサームグループジャパン、英弘産業、MDI、オルガノ、加島、カツラギ工業、関西電力、木村化工機、九州電力、クラフトワーク、国土館大学理工学部 二川研究室、コベルコ・コンプレッサ、サイエンス、サクラ、サンドビック マテリアルズ テクノロジー ジャパン、四国電力、島田理化工業、省エネルギーセンター、昭和鉄工、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）、生活デザイン研究所、第一高周波工業、ダイキン工業、タツタ電線、谷口ヒーターズ、中国電力、中部電力ミライズ、電化厨房ドットコム、電気事業連合会、電力中央研究所、東京電力エナジーパートナー、東京都市大学 大電流エネルギーDX研究室、東芝キャリア、東北電力、中西製作所、ニチワ電機、日本電熱、農業電化協会、ヒートポンプ・蓄熱センター、日立プラントサービス、日立グローバルライフソリューションズ、広築、富士経済、富士電機、富士電子工業、富士電波工機、富士電波工業、前川制作所、三浦工業、ミクロ電子、

(3) WEB 開催の広報強化

第16回エレクトロヒートシンポジウムは1ヵ月間にわたりWEB開催することにより、参加に伴う時間・移動の制約のないなか、昨年度（第15回）と比較すると技術発表テーマ数9→11テーマ、出展者数44者→56者と増えており、昨年の入場登録者数約2,700名に対し、今年は5,000名の目標を掲げた。

目標達成に向け、案内リーフレットや過年度開催シンポジウム参加者およびJEHC関係先へのメール配信に加え、日刊工業新聞社と協力した紙面・バナー広告およびメルマガの頻度・対象を拡大、プレスリリースによるパブリシティ(新聞、業界紙・誌)への情報提供を行った。さらに、会員企業や電力会社が保有する各地域の顧客リソースを活用し、ホームページへのバナー広告設置やメール・メルマガを活用した積極的な情報発信により、全国的な規模、また開催全期間を通し、エレクトロヒートシンポジウムの広報・告知活動に取り組んだ。

- ① 案内リーフレット 10,500部 [A4判 両面]、ポスター310部 [A2判] (9/22～配布)
 - ・電力10社、出展56者、技術発表5者(出展者除く)、協賛31団体に配布
- ② 日刊工業新聞紙面広告
 - ・社告(10/5掲載)、広告[半5段](10/26、11/8掲載)、すだれ広告(11/1掲載)
- ③ WEB広告
 - ・日刊工業新聞電子版(記事:8/1～11/30配信、レクタングルA:11/1～11/30配信、記事体広告11/15～11/30配信)
 - ・JEHC関連WEBページ(産業用ヒートポンプ.COM、電化厨房.COM)
- ④ 出展者、協賛団体ホームページ掲載※敬称略
 - ・加島、東京都市大学、日本機械工業連合会、富士電機、前川製作所、三浦工業 他
- ⑤ 業界紙広告
 - ・工業加熱11月号(11/1発刊)、省エネルギー10・11月号(9/30、10/30発刊)、エレクトロヒート9・11月号(9/15、11/15発刊)
- ⑥ パブリシティ記事
 - ・電気新聞(10/29、11/10掲載)
- ⑦ メール(メルマガ)
 - ・過去および新規シンポジウム来場者等へのメール配信(7/28、10/11、11/1、11/10、11/17、11/19、11/24、11/26、11/30:約5,000→7,300人)
 - ・日刊工業新聞ターゲティングメール(10/26、11/8配信:75,000人)
 - ・地方(北海道、関東、中部、近畿、中国)経済産業局よりメール配信

(4) WEB 構成の見直し

第15回のWEB開催結果を踏まえ、題16回では下記のとおりWEB構成を大幅に見直した。

- ・入場登録時に設定するID,PWで異なるデバイスでも新たに登録せず再入場可とした。
- ・事前入場登録を可能とし、ランディングページを設定。
- ・入場先の会場MAPを起点に、講演エリア、技術発表エリア、各技術展示エリアへの行き来を容易にした。
- ・YouTube 閲覧不可の場合のため、Vimeo 再生も可能とした。

- ・技術出展はPR 動画ではなく、各出展者より任意のデザイン、リンク設定を可とした。
- ・各出展者に出展ブースへの来場者情報を日単位でメール配信できる様にした。
- ・期間限定配信のコンテンツを週替わりで掲載。

ランディングページ



入場登録



再入場の場合

技術展示エリア (ポータルバナー)



会場MAP



各出展者のバーチャルブース



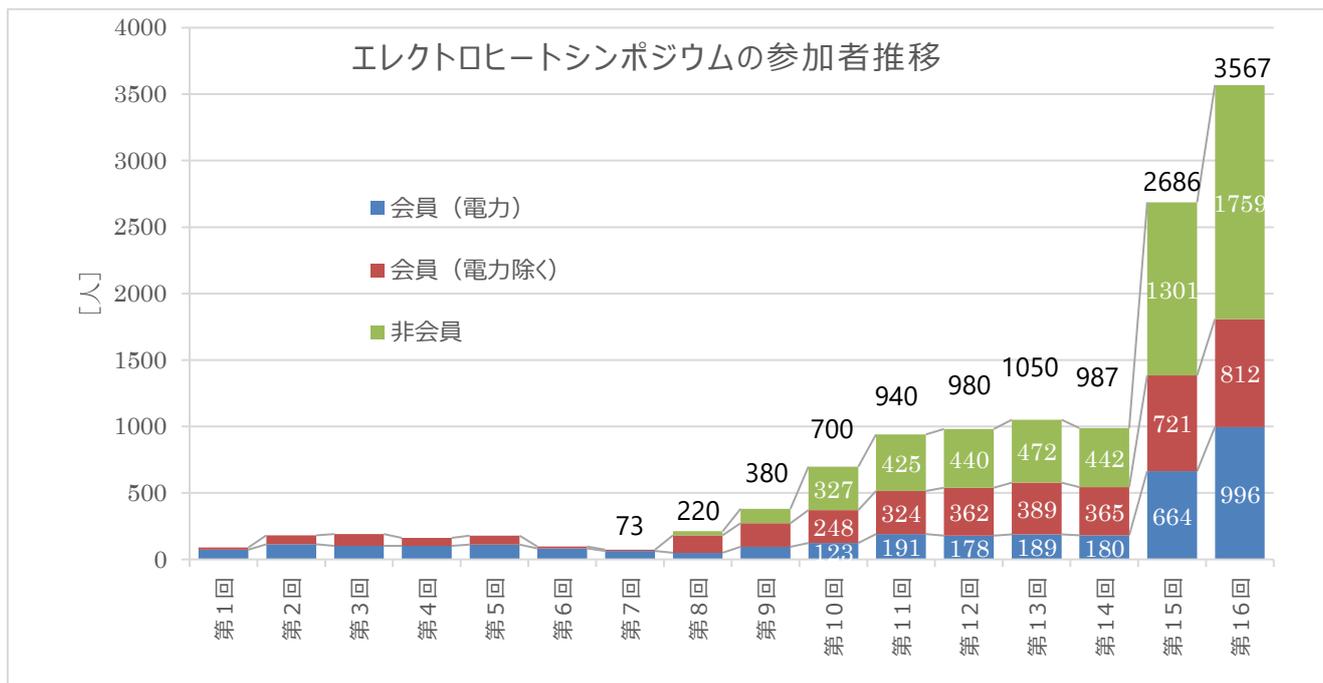
■ 期間限定配信コンテンツリスト

	期間限定配信コンテンツ	掲載期間
1	自動車塗装工程における排熱回収システム導入を中心とした省エネルギーの取り組み (約20分) 日本ファシティー・ソリューション株式会社 都市ES推進室 松元 寛 氏	11月10日(水)~ 11月14日(日)
2	欧州における産業用ヒートポンプの市場外観と技術開発動向 (約30分) 一般財団法人 電力中央研究所 グリッドイノベーション研究本部 ENIC研究部門 甲斐田 武延 氏	
3	カーボンニュートラルに向かう電力システムはどうなるか (約15分) 東京電力ホールディングス株式会社 経営技術戦略研究所 チーフエコノミスト 戸田 直樹 氏	11月17日(水)~ 11月21日(日)
4	国内外の産業電化技術・電化ロードマップ動向調査の報告 (約30分) 株式会社富士経済 エネルギーシステム事業部 第二部 部長 千葉 智滋 氏	
5	2050年カーボンニュートラル実現に向けた提言 (約20分) 株式会社三菱総合研究所 政策・経済センター 主任研究員 博士(工学) 志田 龍亮 氏	11月24日(水)~ 11月28日(日)
6	「省エネ最適化診断」のご紹介 ~熱需要の省エネを中心に~ (約20分) 一般財団法人 省エネルギーセンター 省エネ技術本部 診断指導部長 丸山 正 氏	

5. 実施状況

(1) 入場登録者：3,567名（※昨年：2,686名）

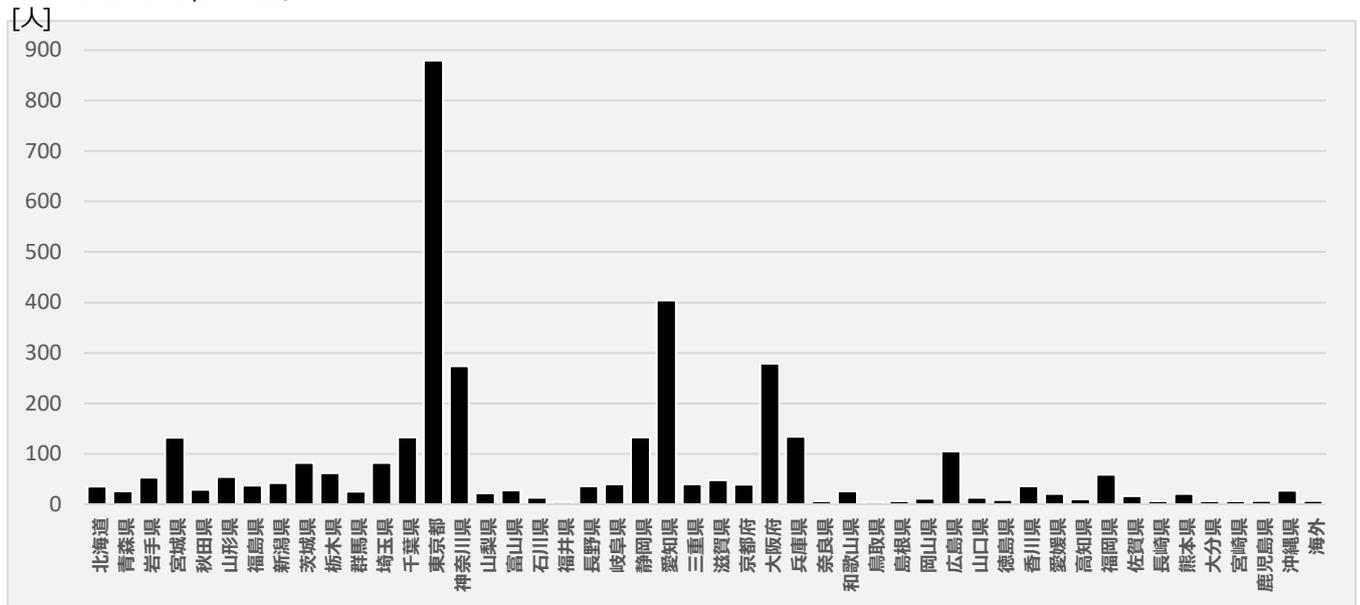
会員（電力除く）：812名、 会員（電力）：996名、 非会員：1,759名



		第16回エレクトロヒートシンポジウム		第15回	
会員	1808	812	加熱機器メーカ、HPメーカ、業務用厨房機器メーカ、エンジニア、金融（ほか）	721	1385
		996	旧一般電力会社	664	
非会員	1759	1249	（製造業） トヨタ自動車、本田技研工業、サントリー、パナソニック、日本電気化学、マツダ、JFEスチール、アイシン、AGC、川崎重工業、住友化学、日産自動車、IHI、スズキ、デンソー、三菱重工業、森永乳業、東芝、エプソン、日立金属、昭和電工、日本甘塩、旭化成、花王、ライオン、カネカ、ダイセル化学、クラレ、日東電工、東レ、日清食品、日清オイリオ、キャン、京セラ、村田製作所、フジストン、大日本印刷、ヤクルト、日清製粉、新明和工業ほか	751	1301
		12	（医療・福祉・飲食・宿泊） 大泉記念病院、東急リゾーツ&ステイ株式会社、シダックスほか	-	
		17	（金融・投資） 三菱HCキャピタル、みずほリース、オルックス、三井住友海上火災保険ほか	9	
		88	（商社・流通・小売） 立花エレクトック、伊藤忠プラントック、進和、三井物産、三菱商事、三國機械工業、扶洋、丸文、山善、西華産業、コメリほか	92	
		87	（エネルギー会社） 東京ガス、大阪ガス、東邦ガス日本グリーン電力、宇部興産（ほか）	113	
		104	（建設業・建築関連） 竹中工務店、大林組、鹿島建設、大成建設、三機工業、安藤・間（ほか）	60	
		202	（政府／研究機関／協会／業界団体／大学／その他） NEDO、省エネセンター、経産省、電事連、HP蓄熱センター、富士経済、遠赤外線協会、日本鍛造協会、日本自動車部品工業会、国土館大学、日本冷凍空調工業会、日本電気協会、東京大学、大阪大学、三重大学、日本ガス振興センター、原子力損害賠償・廃炉等支援機構（ほか）	276	
合計	3567			2686	

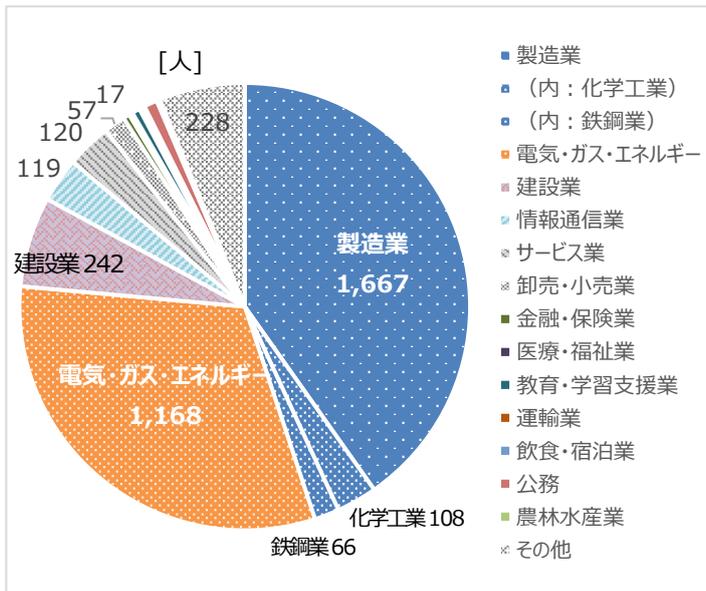
(2) 入場登録者属性

a. 入場地域 (3,567名)



- ・入場登録者は都道府県別では東京都が突出して多い。(879名；約44%)
- ・全体の約45%は東京都を中心とする関東圏(1,559名)、残りは中部(653名)、関西(532名)、東北(373名)の順に多く、旧一般電力会社の拠点地域を中心に登録者の広がりが見られる。

b. 業種



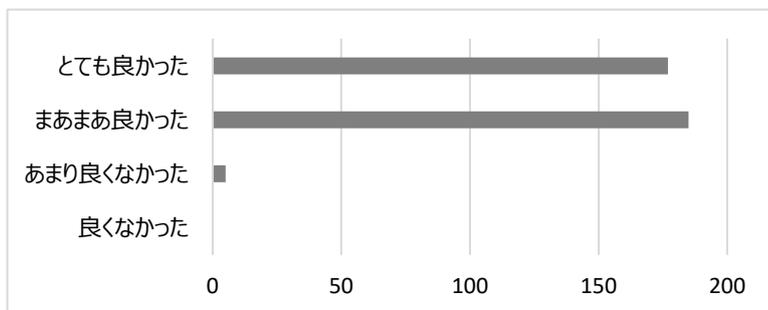
- 製造業が最も多く、約47%を占めている。その中でエネルギー多消費産業である化学工業、鉄鋼業は174名であった。
- 次いで、電気・ガス・エネルギーが約33%を占め、製造業と併せると、8割を占める。
- JEHC会員数の少ない、建設業、情報通信、サービス業、卸売・小売業などからの入場者も見られ、開催テーマでもある「カーボンニュートラル」と脱炭素社会への実現に向けた取り組みについて、幅広い業種が関心をもち、参加に繋がった可能性が考えられる。

(3) 入場者アンケート回答状況 (回収 367 名 ; 回答率 約 10%)



第 16 回ではアンケート回答数を増やす目的で、回答者の中から抽選にて 30 名に書籍「カーボンニュートラル実行戦略：電化と水素、アンモニア（著者：戸田直樹、矢田部隆志、塩沢文朗）」を贈呈。

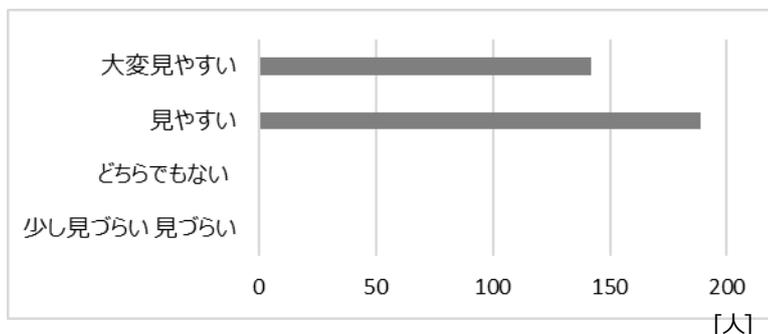
Q. 第 16 回エレクトロヒートシンポジウムはいかがでしたか



○(ほぼ全て (約 99%) の回答が、まあまあ良かったと好評を得た。

○あまり良くなかった 5 件中、4 件は冷凍・空調機メーカーで、新たな情報を得られなかったと推測、残りユーザー 1 件は低温廃熱回収の情報を希望されていた。

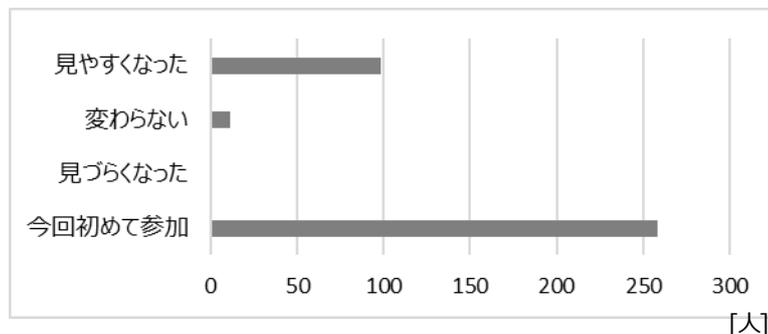
Q. 今回のWEBサイトの作り・構成はいかがでしたか



○全て「見やすい」以上の回答を得た。

○昨年と比較しても、見づらいの意見がなく会場MAPを起点に各エリアへ行き来できる構成がシンプルかつ分かりやすかったと考える。

(昨年(2023年)に続いて2回目の参加の方)



Q. 「WEB シンポジウムのご感想・ご意見・改善すべき点などがあればお書きください」(自由記述)

[回答数 : 137 件]

【総評】

- ・有意義 (50 件) と好評いただいた。
カーボンニュートラルへの取り組み、電化技術について良かった、次回もお願いしたいとのご意見が散見された。
- ・ただし、具体的な説明、事例を増やして欲しい、費用対効果提示ニーズもあった (6 件)。

【WEB 開催】

- ・時間、場所の制約がないことから好評いただいた (34 件)。
- ・少数だが、実機を見たい、質疑コーナー設置のニーズをいただいた (4 件)。

【WEB 構成】

- ・シンプルで導線がはっきりして分かりやすいと好評いただいた (21 件)。
- ・資料ダウンロードしたことにも好評に繋がっている (2 件)。
- ・なかには、動きのあるデザインの要望 (1 件)、選びやすいように技術出展者一覧 (企業名だけでなく) 希望のご意見もいただいた (1 件)、もっとシンプルとの意見もあった (1 件)。

【内容・ボリューム】

- ・発表テーマ数、技術展示数 (ボリューム) が増えたにことについては、否定的な意見はなく、良い (4 件)、もっと増やして欲しい (1 件) のご意見があった。
- ・否定的な意見はないが、多いため期間限定配信の期間の延長 (4 件)、開催後の視聴可 (2 件) の要望があった。

【昨年の課題対応】

- ・YouTube 視聴不可への救済措置 (Vimeo 視聴) は感謝いただいた (6 件)。
しかし、Vimeo も不可の企業もあり、対応ニーズもあった (1 件)。

【その他】

- ・案内リーフレットが概要把握と視聴したい講演、発表を予め探す役目を果たしていた (1 件)。

6. 事務局総評

○3,567 名の方に入场登録いただき、メルマガ配信はじめ社内外問わず広くご案内いただいたことが数字に表れている。引き続き、各電力会社や会員企業の協力を得ながら、入場者の一層の積み上げを図っていく。

(検討事項)

既存会員企業、団体、協賛団体の範囲での案内、周知協力依頼では今回の入場者数が限界と予想。

次回、大幅に入場者を増やし、多くの方に産業電化の重要性を認知いただくには、脱炭素、電化に加え省人、省力化、DX 推進と「ものづくりの現場」が課題とされている分野に関連する関係団体へのアプローチ、連携の必要性を検討したい。

○コンテンツに関しては、高い評価を得ることができている。昨年の改善要望を反映したことが功を奏した。

○従来の会場方式では 1000 人程度だったが、昨年に続き、2,000 人を超えている。アンケートでも WEB 開催の希望は多く、WEB 開催においてもシンポジウムの品質が同等以上だったか引き続き見極め、次年度も WEB 開催 (or 併設) を視野に入れ進めたい。

○次回 WEB 開催であれば、講演者・発表者との距離を縮める方法 (Q & A コーナー設置等) を模索する。

技術展示についてもよりスムーズに選択できる様に工夫したく、他のオンライン展示会の開催方法も参考に
する。

以 上

参考

(案内リーフレット／WEBページ)



第16回

エレクトロヒート シンポジウム

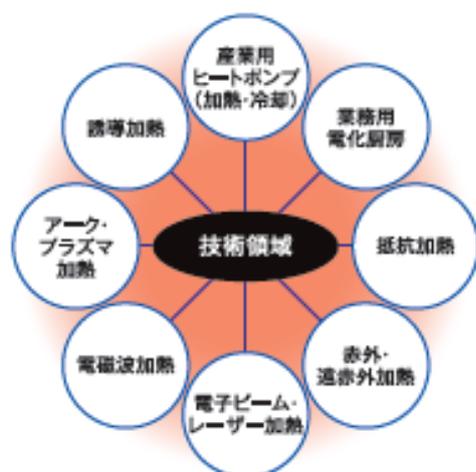
産業電化が導くカーボンニュートラルの未来

<https://jehc-sympo.com>

WEB開催
参加無料



EHS2021 2021年**11月1日**月～**11月30日**火



バーチャル展示による 新時代のシンポジウム

省エネルギー・脱炭素社会の実現に不可欠な“エレクトロヒート”。今年の「第16回エレクトロヒートシンポジウム」はWEB開催となります。各エレクトロヒート技術の最新動向、製品情報、導入方法などについて、各分野を代表する専門家のプレゼンテーション、企業・団体・大学・研究機関による技術展示など、特設WEBサイトには60を超すコンテンツの掲載を予定しています。どうぞご期待ください!

主催：一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター

共催：日刊工業新聞社

後援：経済産業省、環境省

協賛：(一社)エネルギー・資源学会、(一社)遠赤外線協会、(公社)化学工学会、(財)省エネルギーセンター、(財)黒形材センター、(一社)地球温暖化防止全国ネット、(一社)電気学会、電気事業連合会、(一社)電子情報技術産業協会、(財)電力中央研究所、(一社)日本印刷産業連合会、(一社)日本機械学会、(一社)日本機械工業連合会、(公社)日本技術士会、(一社)日本金属熱処理工業会、(一社)日本工業炉協会、(一社)日本工作機械工業会、(一社)日本産業機械工業会、(一社)日本自動車部品工業会、(一社)日本鍛造協会、(一社)日本鋳造協会、(一社)日本鋳鍛協会、(一社)日本炭素工業会、(一社)日本電気協会、(一社)日本電機工業会、(特許)日本電磁波エネルギー応用学会、(一社)日本熱処理技術協会、(公社)日本冷凍空調学会、(一社)日本冷凍空調工業会、(一社)農業電化協会、(財)ヒートポンプ・蓄熱センター

開催期間・特設WEBサイトへのアクセス・構成

WEB開催 [参加無料]

●期間

2021年**11月1日**月**10:00**～**11月30日**火**17:00**

参加方法(入場登録の際にIDを発行します)

特設WEBサイト入場登録の際に発行するID・パスワードで、開催期間中はいつでもサイトに再入場いただけます。

特設サイトへはこちら

16回エレクトロヒートシンポジウム

検索



特設WEBサイトの構成

講演エリア

基調講演①：経済産業省 産業技術環境局
エネルギー・環境イノベーション戦略室長 河原 主 氏

基調講演②：一般社団法人 日本経済団体連合会
環境エネルギー本部長 長谷川 雅巳 氏

特別講演：一般社団法人 日本鉄鋼連盟
エネルギー技術委員長 手塚 宏之 氏

技術発表エリア 各分野の専門家による
プレゼンテーション:11テーマ

技術展示エリア 企業・団体・大学・研究機関による
技術展示:54者



一般社団法人
日本エレクトロヒートセンター
JAPAN ELECTRO-HEAT CENTER



開催期間中 2021年11月1日(月)~11月30日(火)は、

以下のプログラムをオンデマンド配信いたします! <https://jehc-sympo.com>

ご挨拶・開催趣意	産業電化が導くカーボンニュートラルの未来 一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター 代表理事・会長 内山 洋司
基調講演①	2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略 経済産業省 産業技術環境局 エネルギー・環境イノベーション戦略課長 河原 圭氏
基調講演②	2050年カーボンニュートラルに向けた経団連の取組み 一般社団法人 日本経済団体連合会 環境エネルギー本部長 長谷川 雅巳氏
特別講演	鉄鋼業のカーボンニュートラルへの取組み 一般社団法人 日本鉄鋼連盟 エネルギー技術委員長 手塚 宏之氏
技術発表	[特別発表] "C NEUTRAL 2050 design" ~マイクロ波が実現するカーボンニュートラル~ マイクロ波化学株式会社 「再生エネルギーによる電化」と「マイクロ波プロセス」を掛け合わせた製造プロセス構築により、従来比90%以上のCO ₂ 削減を可能にする技術をご紹介します
	[抵抗加熱] 新開発高効率ヒータによるアルミ鋳造工程の省エネ活動事例と脱炭素化への展望 株式会社ヤマト/中部電力ミライズ株式会社 自動車部生産工場から排出されるCO ₂ 、エネルギー消費量が削減される中、新開発の高効率浸漬ヒータによる省エネ実現事例をご紹介します
	[電磁波加熱] マイクロ波連続加熱装置の技術紹介 富士電波工業株式会社 近年100kWを超えるマイクロ波加熱装置が製造販売される中、大電力級の超電磁波加熱装置や電磁波誘起対照などの省エネ効果が高い産業用連続加熱装置の技術事例をご紹介します
	[電磁波加熱] マイクロ波化学研究の最前線 独立行政法人日本学術振興会 産学協力委員会 R024電磁波励起反応場委員会 電化産業への応用が期待されるマイクロ波化学の進展とその最新動向を紹介し、化学反応促進効果の理解と化学産業への応用について展望を述べる
	[誘導加熱] 高周波焼入を支えるIoTプラットフォームFD-IoT(エフディオット) 富士電子工業株式会社 高周波焼入におけるIoTの取り組みとして同社が提供するIoTプラットフォーム「FD-IoT(エフディオット)」に関連する機能群の概要および例をご紹介します
	[誘導加熱] 塗装設備におけるIH導入のご紹介 株式会社スガコーティングス IH導入によりコンパクトで高効率な加熱を可能にする同社独自技術「IH-JET-OVEN」活用による、塗装乾燥工程の生産性向上、エネルギー削減事例をご紹介します
	[ヒートポンプ] LTD管理冷却水処理による省エネソリューション オルガノ株式会社 ヒートポンプの冷媒サイクルにおける熱交換器の汚れの抑止LTDを水処理技術によって最適管理し、省エネ運用を提供するソリューション/サービスのご紹介
	[ヒートポンプ] 機械・化学産業分野の高温熱供給に適したヒートポンプシステム技術開発 三菱重工サーマルシステムズ株式会社 未利用の蒸気が存在する機械・化学産業分野で行った高温高圧水160℃出力で加熱COP4以上、200℃出力でCOP3.5以上の高温ヒートポンプシステム技術開発のご紹介
	[ヒートポンプ] ヒートポンプを用いた廃熱活用事例 三菱電機エンジニアリング株式会社 ボイラ給水の予熱、製造工程における冷水・温水回収取出し他、ヒートポンプを用いた排熱利用について、工場や福祉施設などの事例を用いてご紹介
	[ヒートポンプ] 変動する廃熱のカスケード利用とヒートポンプシステムによる熱の高度化利用について クラフトワーク株式会社 時間帯により変動する廃熱のカスケード利用と稼働量変動適応型ヒートポンプシステムの組み合わせによる、省エネ、CO ₂ 削減事例のご紹介
[業務用電化厨房] 食品産業のDXを推進する「インターネット オブ キッチン プラットフォーム」活用ガイド インターネット オブ キッチン プラットフォーム運営WG委員 今年度より本格運用を開始した業務用厨房機器の共通IoTシステム「インターネット オブ キッチン/プラットフォーム」の具体的な活用方法を紹介します	
技術展示	技術展示56番：IH機械システム、AIHO、アロニクス、インダフトサムグループジャパン、美弘産業、MDI、オルガノ、加藤、カツフチ工業、関西電力、木村化工機、九州電力、クラフトワーク、富士通大学理工学部 二川研究室、コベルコ・コンプレッサ、サイエンス、ササクラ、サンドビック マテリアルズ テクノロジー ジャパン、四国電力、勇往理化学工業、省エネルギーセンター、昭和鉄工、新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)、生活デザイン研究所、第一産業工業、ダイキン工業、タツタ電線、谷口ヒーターズ、中国電力、中部電力ミライズ、電化厨房ドットコム、電気事業連合会、電力中央研究所、東京電力エナジーパートナー、東京理科大学 大電流エネルギーCO ₂ 研究室、東芝キャリア、東北電力、中野製作所、ニチワ電機、日本電熱、産業電化協会、ヒートポンプ・蓄熱センター、日立プラントサービス、日立グローバルライフソリューションズ、広野、富士経済、富士電機、富士電子工業、富士電機工業、富士電機工業、前川製作所、三浦工業、ミクロ電子、三菱重工サーマルシステムズ、リケン環境システム、日本エレクトロヒートセンター (50音順)

■お問い合わせ先

一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター

TEL:03-5642-1733 FAX:03-5642-1734 E-mail: sympo@jeh-center.org



一般社団法人

日本エレクトロヒートセンター

JAPAN ELECTRO-HEAT CENTER

会場MAP



基調講演・特別講演エリア



技術発表エリア





第16回技術展示ページの閲覧者数 (延べ)

延べ閲覧者数総計	13,899
ポータル (64) あたりの閲覧者数	217.17
出展者 (56) あたりの閲覧者数	248.20

第15回 (参考)

期間中計

動画評価数	1,249
貴名入れ記入数	161
合計	1,410
合計/動画数 (68)	20.74
合計/出展者数 (54)	26.11

ページ閲覧者数 (延べ) の推移

